

【中野区】

ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合

本区では、令和３年度に各小中学校においてローカルブレイクアウトを行い直接接続によるネットワーク接続へ構成変更を実施した。これにより、それまで各校からあがっていた「教室から繋がりにくい」、「通信が不安定である」等の課題は改善していると認識している。さらに、令和５年と令和６年に各４校ずつ実施したスループット調査等のアセスメントにおいても、機器の性能と照らして理想となる数値が測定されており、いずれの学校でも国の示す当面の推奨帯域を満たすネットワーク速度を確保できていると考える。

一方で、令和５年１１月の校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査（文部科学省）で測定された数値はいずれの学校も当面の推奨帯域を満たすことができていない。また、同調査の「学校のネットワークが遅い・繋がりにくいと感じることはありますか。」という設問に対し、２９校中２２校が「よくある」、「たまにある」と回答している。

必要なネットワーク速度が確保できている学校数	29 校
総学校数に占める割合	100% (29/29 校)
速度測定方法	8 校 スループット調査等 21 校 実地調査の結果を踏まえた机上調査

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

令和７年度中に特につながりにくい学校等で実地調査によるアセスメントで課題の特定を行う。令和８年度以降、それまでに実施したアセスメントの結果を踏まえ、実測値とユーザの体感ともに適切なネットワーク速度を確保できるようネットワーク機器構成及び設定の最適化に取り組む。